

## 愛全園

### 新館竣工にあたり

理事長 高村 昌裕

本年5月に特別養護老人ホーム愛全園の増改築工事（第一期）が竣工しました。この工事は、昭和54年に建設した愛全園の建物の老朽化について耐震工事の必要性が生じたことを発端として、福井県高齢者福祉施設耐震化促進事業の助成を受けて行いました。

増築した新館建設にあたっては、地主の皆様をはじめ地元の皆様から「愛全園ならいいですよ」と土地



落成式(平24. 5. 22 コミュニティホール)

の利用についてご快諾をいただけたことに、愛全園がこれまで地域の方々とのつながりを大切にしてきた積み重ねが実ったのかと大変うれしく感じた次第です。この場をお借りして、改めて地元の皆様のご理解とご協力に深く感謝いたします。



温かみのあるユニットフロア



また施工業者や設計士には数十回にわたる綿密な打ち合わせを重ねながら、われわれ現場職員の「思い」を「形」へと昇華していただきました。冬期の天候不順

や震災後の復興需要による資材不足など工事は困難を極めました。関係業者の皆様のご助力のおかげをもちまして、大幅な遅滞なく

順調に進められ、ふるさと山並みや田畑を眺望できる、明るく安らぎのある居住空間として完成しました。

あわせて介護職員の腰痛対策として移乗リフトの設置や災害時の地域福祉避難拠点として緊急時対応の発電機も設置しました。

この建物を最大限に活用して、愛全園は新たな一歩を踏み出すことができます。ユニットケアの実践として利用者の方一人ひとりに合った暮らしのサポートを行い、これまでの生活との継続性を保ちながら「生きいきと、わがままに、安心して」過ごせる「わが家」となるよう職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

6月からの第二期工事では本館部分の耐震補強工事を行いながら、在宅サービスの充実や法人内託児所の設置を進め、完成は11月の予定です。

足羽福祉会では、今後ともよりいっそう地域社会にすべての施設・事業所を開放し、皆様にとって役立つ社会資源として活用いただけるよう運営してまいります。どうか変わらぬご支援とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



個室ユニット型特養6ユニット60床、従来型特養30床、短期入所12床